

主な内容

- 2 身近に広がる歴史の世界
文化財を楽しもう
- 7 天草西海岸夕陽・夕景フォト
コンテスト 入賞作品決定
- 8 天草の魅力 カラダで感じて！
サイクリング環境の整備が進んでいます
- 10 いきいき健康
- 12 暮らしの情報
- 23 市民のひろば
- 24 キラリ天草人
- 25 世界遺産トピック／天草見どころ図鑑
- 26 未来のスター／和んチーム
- 27 わたしの記念日
- 28 宝島のわだい
- 30 お出かけ情報／3月の潮汐
- 31 休日在宅病・医院
水道修繕当番店／献血日程
- 32 道の駅「宮地岳かかし」オープン



LINE



Facebook



Instagram

人のうごき

1月末日現在

1月中の異動		※()内は前月比	
人 口	78,127 (125減)	出生	32人
男	36,716 (45減)	死亡	149人
女	41,411 (80減)	転入	89人
世帯数	36,707 (48減)	転出	97人

問い合わせ先

本 庁	天草市役所 ☎23-1111 〒863-8631 天草市東浜町8番1号
支 所	牛 深☎73-2111・有 明☎53-1111 御所浦☎67-2111・倉 岳☎64-3111 栖 本☎66-3111・新 和☎46-2111 五 和☎32-1111・天 草☎42-1111 河 浦☎76-1111

身近に広がる歴史の世界

文化財を楽しもう

「歴史」という言葉が流行ったように、歴史好きの人が注目を浴びるようになった昨今。歴史を知るうえで欠かせないのが「文化財」で、文化財からその時代を感じることが出来ます。天草市内にも200ほどある文化財。全てご紹介はできま

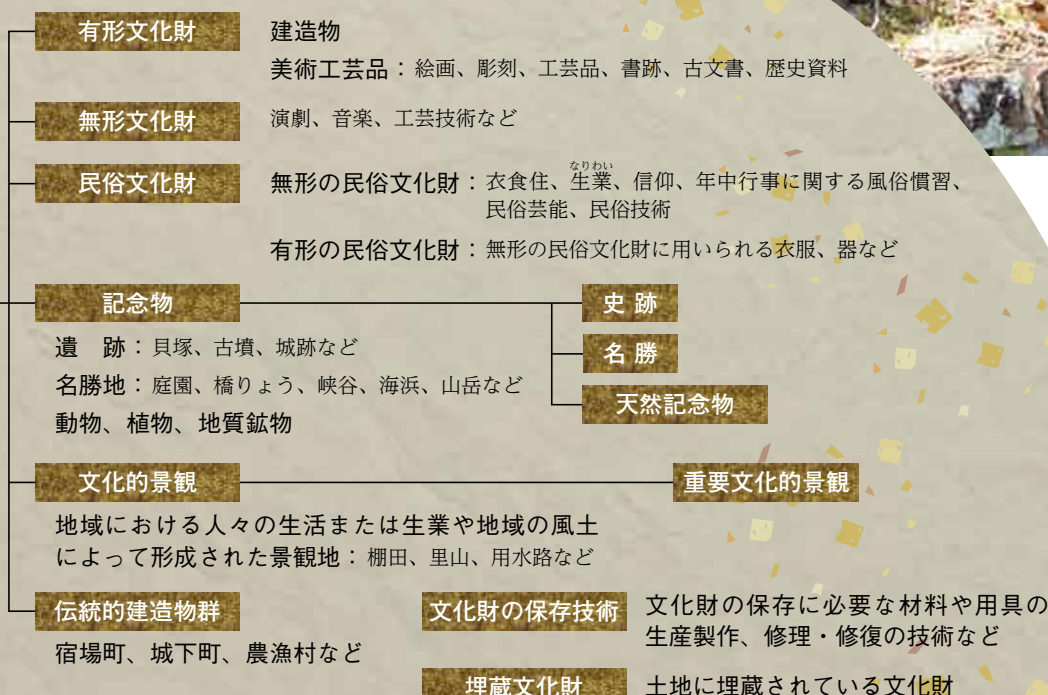
せんが、今月号では指定文化財にはどんなものがあるのか体系的に整理してご紹介します。

☎文化課 ☎32-6784

市指定彫刻 「西国三十三観音像」(久玉町)

観音像 33 体が道脇に安置され、通行人の参拝や地元住人からの供物がなされていました。県道の拡幅によって久玉山無量寺裏に移転安置し、同寺によって供養が続けられています。

<文化財の体系図>



んが、形あるものだけでなくお祭りや唄、工芸の技術といった技なども当てはまります。

文化財とは、長い歴史の中で生まれ、今日まで守り伝えられてきたもの。大きく、「有形文化財」、「無形文化財」、「民俗文化財」、「記念物」、「文化的景観」、「伝統的建造物群」の6つに分けられ、このうち重要なものを国や県、市が指定・登録をして保護しています。そのほか、地中に埋蔵されている「埋蔵文化財」、文化財の保存・修理に必要な伝統的な技術を「文化財の保存技術」として、保護の対象としています。文化財というと城跡や寺院、資料館の展示物などを想像するかもしれませんが

天草レキバナ会インタビュー

歴史上のものに
出会える感動！

天草レキバナ会
（天草の歴史と昔話を学び話す会）
青木賢治さん（51歳）



天草の歴史好きな人たちと、天草の歴史をテーマに月に一回程度勉強会や野外探検などを行っている「天草レキバナ会」。

歴史を知ることは何より楽しいし、自分の住んでいるところで「昔こんなことがあったんだ」と新しい発見が生まれ、世界の見え方が変わります。

歴史を知るうえで文化財はとても重要。城跡ひとつをとっても、城の造りから家臣団と領主との関係が推測できる。文化財をそういう視点で見ること、より世界が広がり、歴史上の物がそこにあるという感動があります。

地域の歴史を知れば自分が住んでいる地域に誇りを持って、世界が広がり、きっとおもしろいですよ。

天草レキバナ会

歴史を一緒に楽しむ人、
お待ちしております！



▲天草レキバナ会
Facebook

活動内容

- ・勉強会、講演会
- ・野外で史跡などの見学「レキバナ探検隊」

▼勉強会風景



▼レキバナ探検隊



県指定無形民俗文化財 「栖本太鼓踊り」

所在地 栖本町湯船原

島原・天草一揆後、天草初代代官鈴木重成は、1645年に栖本城跡のふもとに諏訪神社を建立。栖本太鼓踊りは諏訪神社に奉納される踊りです。保存会の指導のもと、現在も継承され、民俗芸能として300余年の長い伝統を誇っています。

栖本太鼓踊り▶



マメ知識！

10月の第3週、11月の第2週の日曜日に、例大祭が開催され、河内神社、栖本諏訪神社へ奉納されます。

天然記念物

対岳楼跡アコウ樹▶



市指定天然記念物

たいがくろうあと

「対岳楼跡アコウ樹」

所在地 有明町島子

幹回り約7.2m、樹高が7.5mにもなる大木が3本並んで自生しており、樹齢は約300年とされています。幕末期に、志柿村庄屋永野家の別荘がこの地にあり、対岸の雲仙普賢岳に対峙していることから「対岳楼」と称されました。

文化財を楽しむ ポイント！

文化財のことを詳しく知ってもらうために、各所に「説明板」を設置しています。ぜひ読んでみて、その時代のことを想像してみてください。
松本学芸員



ほかの文化財は
こちらから



▲市ホームページ

民俗文化財

天草の文化財を見てみましょう

市内には、文化財保護法などに基づき206の指定文化財があります。その一部を紹介します！

国登録建造物「上田家住宅」

上田家は、340年前から代々高浜村庄屋をつとめた天草の旧家のひとつ。1814年の高浜の大火によって焼き尽くされてしまいましたが、1815年、現在の庄屋宅の姿に再建されました。昭和7年(1932年)には与謝野鉄幹・晶子も宿泊しました。

所在地 天草町高浜

※屋内の部屋には上がりません。



▲上田家住宅
(離座敷)

▼上田家住宅
(主屋)



県指定史跡「久玉城跡」

築城の年代や城主については未だ明らかになっていませんが、天草氏の一族である久玉氏の居城であったと伝えられています。昭和47年の国道改修工事の際に発掘され、当時の大手門跡、排水溝などが発見されました。

所在地 久玉町

お知らせ！

令和2年7月豪雨と台風9・10号で被害を受けた遊歩道の整備が完了しました。

久玉城跡の高石垣▶



国指定 歴史資料 「綸子地著色聖体秘蹟図指物（通称：天草四郎陣中旗）」

1637年に起きた島原・天草一揆で、キリシタンを含む3万7千人もの農民を率い、12万5千の幕府軍と戦った天草四郎が使用した軍旗と伝えられており、日本におけるキリシタン史上最も貴重な資料とされています。

中央に大聖杯、その上に聖体聖餅、左右に合掌している天使が描かれ、点々と残る血痕や矢弾の跡に一揆の激しさがうかがえます。

所在地 天草キリシタン館
(船之尾町) ☎22-3845
※劣化を防ぐため通常はレプリカを展示

綸子地著色聖体秘蹟図指物▶

3月1日から本物を公開！
（詳細は6ページに掲載）



国指定名勝「妙見浦」

約7,500万年前に堆積した地層が隆起して波の侵食によってできた天草西海岸の代表的な岩礁。海岸一帯は高さ20～80mにもおよぶ断崖が連なり、手前の大きな島の洞門は小舟などで通ることができます。洞門の中では鍾乳石も見られます。

所在地 天草町高浜

マメ知識！

周辺の「西平椿公園」と「鬼海ヶ浦展望所」からの眺めは、『日本の夕陽百選』にも選ばれています。

妙見浦の
「ぞうさん岩」(通称)▶



国選定重要文化的景観 「崎津・今富の文化的景観」

崎津・今富は、歴史的に流通・往来の拠点であるとともに、「カケ」・「トウヤ」など、漁業を生業としてきた独特の景観を持つ崎津と、近世以降の干拓により農地を広げつつ山裾に集落を営んできた農村景観を持つ今富による一体の文化的景観が形成されています。

このような独特の景観が評価され、平成23年に「天草市崎津の漁村景観」として本市で初めて国の重要文化的景観に選定。平成24年に今富も追加され、「天草市崎津・今富の文化的景観」という名称になりました。

◀崎津集落



文化的景観

天草西海岸 夕陽・夕景フォトコンテスト 入賞作品決定

「天草夕陽八景」を中心とした天草西海岸地域（牛深・天草・河浦地域）の夕陽・夕景をテーマに、フォトコンテストを開催しました。

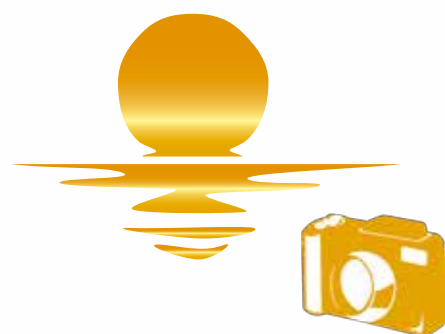
市内外から 66 人・220 点の応募があり、1 月 20 日に行った審査会で入賞作品を決定しました。
最優秀賞（1 点）、優秀賞（2 点）の作品と入賞者を紹介します。

（敬称略、順不同）

最優秀賞 「荒れる須賀無田」 小坂 敏行（上天草市）



優秀賞 「茜さす」 三嶋 大我（天草市）



優秀賞 「夕陽のデッキ」
つりだし 釣出 満彦（上天草市）



●入 選 永田 隆一（天草市）、福永 亮二（熊本市）、國原 則夫（天草市）、河本 泉（大津町）、
杉本 聖樹（天草市）、金澤喜久男（天草市）、日當 國親（八代市）、林 興介（合志市）、
濱崎 崇志（天草市）、保田 周一（八代市）、吉田 佳郎（八代市）、宮崎 寛（天草市）、
川浪 義光（長崎市）、江口 伸生（合志市）、山下千栄子（天草市）

全応募作品を展示！

と き 3 月 10 日⑩～28 日⑩

ところ ギャラリー四季（銀天街内）※月曜休館

☎ 観光振興課 ☎ 32-6787

入賞作品はこちら➡



▲市ホームページ

身近に広がる歴史の世界
—文化財を楽しもう—

巡る楽しさ

いつでも手軽に見に行けることも文化財の魅力のひとつ。それらを巡るウォーキングなどに参加して、天草の文化財を見に出かけてみませんか。

恒例
行事

浦の史跡ウォーク・棚底史跡めぐり&ウォーク・御領史跡探訪 など

※新型コロナウイルスの状況によって開催されない場合があります。



実物を見るからこそ出会える感動。楽しみ方は人それぞれ

長い歴史の中で生まれ、今日まで守られてきた「文化財」。どれも一つひとつがその時代を今の私たちに伝えています。見るだけでも「こんな歴史があったんだ」と発見があったり、「きつこうだったんだろうな」と思いを巡らせたりすることもできます。

実物を見るからこそその感動がきっとあります。文化財を見て、自分なりの楽しみ方で歴史に触れてみましょう。

4 月号から新コーナーで、文化財を紹介していきます。ぜひご覧ください。

イベント情報

棚底史跡めぐり&ウォーキング

参加者
募集

☎ 棚底地区振興会
☎ 64-3664・FAX 63-7544

倉岳の国指定史跡棚底城跡や大権寺遺跡などを歩いて巡ります。

Aコース
約4km

ガイドの説明を
聴きながら史跡めぐり

と き 4 月 25 日⑩
9 時～12 時

と ころ 棚底地区
コミュニティセンター
（倉岳町）

Bコース
約6km

自分たちの
ペースでウォーキング

定 員 150 人（先着順）

参 加 費 一般 500 円、高校生以下 200 円
未就学児無料（保護者同伴）※当日受付で徴収

申込方法 4 月 16 日⑤までに、電話または FAX（住所・氏名・
年齢・希望するコースを記入）で申し込み。



▲棚底城跡

天草四郎陣中旗特別公開展示

☎ 天草キリシタン館 ☎ 22-3845

普段見られない天草四郎陣中旗の本物を展示します！

と き 3 月 1 日⑩～7 日⑩

と ころ 天草キリシタン館（船之尾町）

入 場 料 大人 300 円、高校生 200 円、小学生・中学生 150 円

※20 人以上の団体は 2 割引き ※市内の小学生・中学生・高校生は無料

開館時間 8 時 30 分～17 時（入館は 16 時 30 分まで）※毎週火曜日は休館日